



令和六年 東吉野村二十歳の成人式



2024
(令和6年)
2月号
Vol. 610



ひがしよしの
広報

東吉野村二十歳の成人式挙行

1月7日、村住民ホールにて令和6年東吉野村二十歳の成人式を挙行了しました。二十歳を迎える対象者は13人で、当日は7人が出席されました。

橋本教育長の式辞後、水本村長、大丸議長よりお祝いの言葉が贈られました。

その後、出席者を代表して榊井杏さんが「自覚ある社会の一員になれるよう努力し、立派な大人として地域社会のために貢献しうる人間になりたいと思っています」と力強く誓いの言葉を述べられました。

出席者の皆さんは、式典終了後も友人や恩師との久しぶりの再会に会話が弾み、村のマスコミキャラクター「ひよしちゃん」との写真撮影を楽しんでいました。



成人式の様子



誓いの言葉を述べる成人代表の榊井杏さん

今年の二十歳を迎える成人は次の方々です。

(五十音順敬称略)

今中 亮太郎
岩本 遼
川口 歩
木津 大和
NGUYEN THI HUNG
小坂 翔
DINH THI HONG NGAT
福本 雅



乾杯



久々の再会を楽しむ成人の皆さんと恩師

BUITHILAN

榊井 杏

榊本 廉太郎

峯山 花

LETHINGOCLINH

以上13名



村消防団出初式

1月6日、村住民ホールにて新春の村消防団出初式を挙行了しました。

消防団は、常日頃から訓練や巡回などを行い、地域の防災力向上に努め、災害発生時には消火や救助活動などを行い、地域防災において大きな役割を果たしています。

式では、それらの活動の中で、功績が認められた消防団員が、水本村長、松久保団長より表彰されました。

また、松久保団長は訓示で、「安全安心に暮らせる村づくりのため、消防人としての自覚と誇りを持ち地域の守手の中心として、今年一年切磋琢磨して消防団活動に取り組んでくれることを心から切望します。」と述べられました。

表彰された方々は次のとおりです。

【村長表彰】

第3分団 部長 小嶋 周作
第4分団 班長 岡本 尚也
第11分団 部長 西谷 勇人

【団長表彰】

本部機動隊 班長 下入 弘志
第4分団 班長 定 浩司
第11分団 班長 藤川 拓馬

【知事表彰】

本部機動隊 隊長 大前 勇
第3分団 分団長 丸井 泰幸

【県消防協会吉野支部長表彰】

第7分団 分団長 福岡 久司
第11分団 分団長 桶谷 孝也

【県消防協会吉野支部長表彰】

第4分団 部長 富田 卓
第5分団 分団長 関谷 浩輔



松久保団長訓示



水本村長式辞

また、21日の令和6年奈良県消防協会吉野支部連合出初式で表彰された方々は次のとおりです。

村消防団 団長、副団長、分団(隊)長
(令和6年1月6日付)

役 職	氏 名
団 長	松久保 久 永
副 団 長	西 林 清 幸
副 団 長	西 出 哲 也
本部機動隊長	大 前 勇
第3分団長	日 浦 伸 弥
第4分団長	野 岳 繁
第5分団長	山 口 真
第6分団長	石 谷 通 浩
第7分団長	福 岡 久 司
第9分団長	木 原 健 吾
第10分団長	結 城 真 吾
第11分団長	桶 谷 孝 也



団長表彰受賞者



村長表彰受賞者



受賞者代表謝辞

とんど

1月8日から15日にかけて村内各地の河原や空き地などで、とんどが行われました。

地域の人々が家内安全、無病息災などを祈願しながら、杉や桧、竹でやぐらを組み、各家で飾っていたしめ縄や門松などの正月の縁起物を一緒に燃やしていました。

組みあげられたとんどは、勢いよく燃え上がり、その後はまったりとした炎となります。

集った人たちは、竹の破裂音が響く中、燃え上がる火を見守りながら、近所の方や友人達と語り、お餅やお酒などの料理を持ち寄り、団らんされていました。



中黒



大又



木澤川



小栗栖



小川



小

威徳和良氏が奈良県更生援護 功労者知事表彰を受賞

令和5年12月19日、奈良県人権センターにて、令和5年度奈良県障害者自立更生者・更生援護功労者知事表彰式が行われ、本村小在住の威徳和良氏が更生援護功労者知事表彰を受賞されました。

威徳氏は、30年以上前から本村手をつなぐ育成会会員として、知的障害者福祉の増進に関わり、知的障害者等の更生援護に尽力されてきました。平成24年からは当会会長に就任され、以降10年以上に渡りその職務に従事されています。また、当会以外にも、吉野郡手をつなぐ育成会役員や本村社会福祉協議会理事、地域自立支援協議会副会長なども務められています。今回の受賞は、それらの功績が認められたものです。

威徳氏の今日までのご労苦に深く感謝いたしますとともに、今後ますますご活躍されますことをご祈念申し上げます。



鷺家集会センター 竣工式

「鷺家集会センター」がこのたび完成し、12月25日、村長、議会議員、鷺家区長を始め地元関係者、工事関係者など約40名が出席して建設の完成を祝いました。

これまで旧鷺家小学校を集会所として利用をしていましたが、施設の老朽化に伴う危険性を鑑みて、地元関係者の方々による熱心な相談・陳情を受け、解体後、新たに建築致しました。

完成した施設は、バリアフリーの木造平屋建てで、人に優しい造りになっており、区民の方の憩いの場・活動の場として、また、防災の拠点として活用されます。



テープカットの様子



鷺家集会センターの外観

人権出前教室

1月16日、東吉野こども園にて、本村の人権擁護委員の榊本氏、辻井氏、浦前氏と、桜井宇陀人権擁護委員協議会子ども人権委員会の南部氏、中森氏による人権出前教室が開催されました。

今回は園児13名を対象に出前教室が実施されました。

園児たちは、まず「焼き芋じゃんけん」でリラックスした後、勇気を出して困難を乗り越えることをテーマにしたエプロンシアター「3匹のやぎのがらがらどん」と、思いやりをテーマにした紙芝居「どうぞのいす」を真剣な様子で鑑賞していました。その後園児達は、人KENまもる君と人KENあゆみちゃんとの交流を楽しみました。

最後に、人権擁護委員から啓発物品が手渡されました。



人権出前教室の様子

大谷翔平選手から東吉野小学校にグローブ寄贈

1月16日、東吉野小学校に、メジャーリーガーの大谷翔平選手からグローブが寄贈されました。

全国で行われている今回の寄贈は、児童たちが野球に興味を持つきっかけづくりを目的としたものであり、大谷選手から「この3つの野球グローブは学校への寄附となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれるスポーツだからです。」とのメッセージが贈られました。



▶児童たちは、グローブを手にはめ、とても喜び、野球に興味を持った様子でした。



寄贈されたグローブ(右利き用2つ、左利き用1つ)

東吉野村教育研究会 文化展

期間 令和6年1月31日～2月22日

場所 役場玄関

村内の小学校低学年・小学校高学年・中学生・こども園児の順で、一週ごとに展示を入れ替えて作品の展示をします。是非ご覧ください。

健康のひろば

2月の保健事業

お問い合わせは
住民福祉課へ

子育てサロン (びよびよサークル)

とき 2月21日(水)
午前10時～11時

ところ 役場3階 大会議室

対象 就学前の子どもと保護者、妊婦

内容 体重測定・育児相談・保護者同士の交流

持ち物 マスク、飲みもの

申込み 参加ご希望の方は、2月19日(月)までに住民福祉課までご連絡ください。

乳幼児健診
とき 2月22日(木)
受付 午後1時30分～2時

ところ 役場3階 会議室

対象 児健診
生後3ヶ月～14ヶ月の乳児

1歳6ヶ月児健診
R4年7月～9月生まれ

2歳児健診
R4年1月～3月生まれ

3歳6ヶ月児健診
R2年7月～9月生まれ

※対象者には、個別通知いたします。

内容

身体測定、内科診察、歯科診察、栄養・歯科・育児相談
(対象希望者にはフッ化物塗布をおこなっています)
※発熱などの体調不良や欠席の場合には、事前に住民福祉課までご連絡ください。

悩みごと相談所

臨床心理士が、様々な悩みにカウンセリングをしながら具体的なアドバイスを行います。相談された内容は秘密厳守されます。仕事や人間関係、子育ての悩みなど、どんな事でもお気軽にご相談ください。

とき

2月17日(土)
午前10時～午後4時
(正午から1時までを除く)

ところ 役場1階 会議室

申込み

ご希望の方は、2月15日(木)までに住民福祉課までご連絡ください。

【相談者1人につき1時間、1日5名まで】

インフルエンザ予防接種費用助成について(締め切り間近!!)

《対象》

予防接種時点で村内に住民票のある方

※ただし、令和5年12月31日までに接種を済ませられた方

※村内医療機関で予防接種を受けた高年齢者の方は除きます

《助成額》 対象者の内

○子ども（平成17年4月2日以降に生まれた方）

全額

○高齢者（65歳以上の方と60歳以上の身体障害者手帳1級程度の障害を有する方）

自己負担金2,000円を差し引いた額（上限3,660円）

※生活保護受給者の方は全額

《必要書類》

- ・申請書
- ・予診票の写し（市町村控え）
- ・領収書

《申請方法》 郵送または窓口

《申請締め切り》

2月29日（木）まで（郵送の場合必着）

子宮頸がん個別検診について

子宮頸がんは女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。20歳になったら、2年に1度は定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。村では、子宮頸がん個別検診を3月末まで実施しておりますので、婦人科検診を受診しそびれた方は、ぜひこの機会に検診をお受けください。

受診期限

3月31日（日）まで

受診先

奈良県内の契約医療機関

対象 20歳以上の村民（今年度中に20歳になる者を含む）

ただし、今年度すでに子宮頸がん検診を受けた者を除く

内容

問診、視診、子宮頸部の細胞診、

費用

2,000円（クーポン券対象の方、生活保護受給者は無料）

申込み

住民福祉課へご連絡ください（必要書類をお渡しします）

受診方法

ご自身で医療機関へ予約を行い、役場発行の書類を持参の上、ご受診ください

※クーポン券を紛失された方は、再発行しますので役場へご連絡ください。

女性のための健康講座について

3月1日～3月8日は女性の健康週間です。女性がより健康で活躍できる社会を目指し、健康講座が開催されます。参加ご希望の方は、下記へお申込みください。

とき

3月3日（日）

午後2時～4時（受付開始 午後1時30分）

ところ

学園前ホール（奈良西部会館3階 奈良市学園前南3丁目1番5号）

近鉄学園前駅南口より徒歩1分

定員

約300名（申し込みの有無に関係なく、当日先着順）

内容

①女性と骨粗しょう症

奈良県総合医療センター産婦人科部長 佐道俊幸先生

②更年期障害と老年期障害

奈良県立医科大学産婦人科教授 木村文則先生

費用

無料

申込み

奈良県医師会館内
奈良県産婦人科医会公開講座

係

TEL 0744-2218502
FAX 0744-2317796

新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンの全額公費による接種は、初回接種、秋冬接種ともに3月31日で終了します。まだ接種を受けていない方で接種を希望される方は、期間内に余裕をもってお受けください。

予約先

0747-545083

（奈良県総合医療センター）

予約時間

平日の月・水・金の午前10時～午後2時まで

DV（ドメスティック・バイオレンス）をどう存じますか？

DVとは、「配偶者や恋人など

親密な関係にある、またはあつた者から振るわれる暴力」を意味し、殴る・蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力などがあります。また、複数の暴力が重なって被害者を苦しめている場合も多くあります。DVは重大な人権侵害であり、いかなる理由があっても（例えば被害者の落ち度を咎めるためであっても）、正当化されることは決してありません。

DVは身近な問題ですが、多くが外からはみえにくいいため、潜在化・長期化し、重大な危害が生じる恐れがあります。自分に当てはまるかもと感じたら、自分や家族を守るために、ひとりで悩まずにまずはご相談ください。

もし誰かが配偶者や交際相手等との人間関係で悩んでいるのではないかと思ったときは、声をかけて話を聞いてみてください。そして相談窓口があることを伝えてあげてくださいるようお願いいたします。

《相談先》

DV相談プラス

0120-279-889

（24時間対応）

固定、携帯、公衆電話からつながります。メール相談も可能。

《緊急時》 110番

引用先奈良県子ども家庭課ホームページ

<https://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=12062#katei006>

令和6年2月 奈良県医師会の学術部会が行う健康相談

お気軽にお問い合わせください

相談日の種類	日 時	予約の必要	主催する部会
整形外科に関する健康相談	2月7日(水) 午後3時～4時	予約必要 ※受付締切2月6日(火)	奈良県医師会 整形外科部会
目の健康相談	2月13日(火) 午後2時～3時	予約必要	奈良県眼科医会
精神科に関する健康相談	2月16日(金) 午後3時～4時	予約必要 ※受付締切2月9日(金)	奈良県医師会 精神々経科部会
内科疾患に関する健康相談	2月28日(水) 午後2時～3時	予約必要	奈良県医師会 内科部会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる場合がございますので、必ず事前にお問い合わせください。

場 所 奈良県医師会館 1階 県民健康サービス室(近鉄大和八木駅から北へ徒歩7分)

連絡先 〒634-8502 橿原市内膳町5-5-8 奈良県医師会各主催部会

TEL 0744-22-8502 FAX 0744-23-7796

過敏性腸症候群とは

過敏性腸症候群とは、検査では異常がないにもかかわらず、下痢や便秘、腹痛などを慢性的に繰り返す病気です。20～40代に好発し、日本人の約1割がこの病気になるといわれています。主な発症原因として、脳腸関連の異常が関与している事が分かっています。脳腸関連とは脳から腸に向かう信号、そして腸から脳に向かう信号、そして腸から脳に向かう信号がお互いにバランスを取り合って腸管の運動を整えている状態をいいます。過敏性腸症候群の患者さんは、その両方向での信号が強過ぎるため、様々なストレスが加わる事で腸の動きに異常が生じやすく、下痢や便秘を起こしてしまいます。

特徴として、寝ている時に症状が出る事はまれで、リラックスした休日なども症状が軽減傾向にあり、ストレスなどの心理的要因が最も大きく関与していると考えられています。

確定診断をするためには、同様の症状を来す疾患がないかを調べる必要があります。大腸・小腸疾患、甲状腺機能異常症、脾臓疾患、寄生虫疾患などを否定する必要があります。

治療として一番重要なのは「生活習慣の改善」です。心理的ストレス、過度の飲酒、偏食や早食、睡眠不足、運動不足など生活習慣の乱れが発症や悪化に大きく関わっていると考えられています。

二番目に「食事療法」となります。高脂質食、カフェイン類、香辛料を多く含む食品、人工甘味料、乳製品などは増悪因子となるので控えるのが望ましいです。

これらで改善しない場合は「薬物療法」となります。薬が著効する場合もありますが、過敏性腸症候群の多くの方は症状を完全に取ることは難しいようです。予後のよい良性疾患であるので、完全に治そうとするのではなく、生活習慣の改善を中心に、症状をコントロールするように心がけることが大切です。

奈良県医師会

こんにちは 地域包括支援センターです



もしものときのために「人生会議」してみませんか

～自らが望む、人生の最終段階の医療やケア（介護）について話し合ってみませんか～

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

もしも、あなたがそのような状況になった時、家族などあなたの信頼できる人が「あなたなら、たぶん、こう考えるだろう」とあなたの気持ちを想像しながら、医療やケアについて話し合いをすることになります。

その場合には、あなたの信頼できる人が、あなたの価値観や気持ちをよく知っていることが、重要な助けとなるのです。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。

全ての人が、人生会議をしなくてはならないというわけでは、決してありません。

あくまで、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知らなくても、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

一方で、人生会議を重ねることで、あなたが自分の気持ちを話せなくなった「もしものとき」には、あなたの心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、そして また、あなたの大切な人の心のご負担を軽くするでしょう。

少し先のことをご家族や仲の良い方と話し合われてはいかがでしょうか。



☆出前介護相談のご案内

○介護疲れで話を聴いてほしい ○介護の仕方を教えてほしい ○介護制度に関すること 等々（秘密は厳守いたします）

担当者がご自宅に訪問し、介護のご相談に対応いたします。

地域包括支援センターへお気軽にご連絡ください。

☆障がい者介護相談のご案内

障害のある方やそのご家族を対象に暮らしの事、将来的な事、生活上の心配事等々の相談をお受けするため、東吉野村役場にて専門相談員による窓口を開設しています。

例えば、

『人と話したり関わるのが苦手・・・だけど外に出たい。何か方法はないかな？』

『福祉サービスってどうやったら使えるの？どんなものがあるの？』

『高齢になってきて、子供の将来が心配・・・』 e t c .

下記の日程で来所もしくはお電話にて相談員が対応いたします。

日 時 2月21日（水）14時～17時 **場 所** 役場1階会議室

TEL 42-0441（住民福祉課）※担当相談員にお繋ぎします。

※足を運ぶのはちょっと・・・『でも、直接話を聞いて欲しい！』という方は事前に上記連絡先にお知らせしていただければ訪問させていただきます。

※相談窓口開設日以外でも、生活相談センターのどこかへ直接電話相談可能です。

TEL 0747-53-2153へご連絡いただければ相談員が対応いたします。

（のどか開所日 月曜～金曜9時～18時30分／第1・第3土曜13時～17時）



こころやあい社協

移動図書館 LookBook 小さな小さな本の島

Look Book

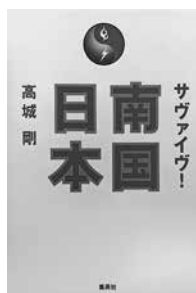
本は持ち寄り、みんなは立ち寄り

絵本から小説までたくさんの一覧、いつでも誰でも気軽に閲覧

東吉野村にできた新しい移動図書館、東吉野村庁舎内に常設した
面白い空間

ルール

- ①村内在住の方のみ
- ②貸出期間は1か月
- ③貸出本は5冊まで



社会福祉協議会では本の貸し出しをしています。

イベント時は出張して移動図書館をしていますが、普段は役場庁舎1階ロビーに常設しています。

貸出や返却は社会福祉協議会までお願いします。

スペースに限りがありますが、読まなくなった絵本の引き取りをしていますので、ご相談ください。

地域おこし

協力隊の日々

3年間の地域おこし協力隊を終えて

吉田 淳平

こんにちは。三尾で農業をしております、吉田淳平（よしだじゅんぺい）です。2024年の1月を持ちまして、地域おこし協力隊としての活動を終了しました。また任期終了後も引き続き、三尾に定住し農業を行っていきます。

私が3年前に東吉野村にきた時、最初は小栗栖の空き家に住んで、三尾でお借りした畑に毎日通っていました。そして初年度の11月に三尾に引越し、今では計8力所、約4反の畑で野菜を栽培しています。当初は農業の経験ありませんでしたが、本や

Youtube、周りの方から農業について教えて頂き、少しずつ自分でも栽培技術が向上していることを実感しています。

私は「自然農」という農法で農業を行っていますが、この方法は無肥料・無農薬・不耕起で草と虫を敵とせず野菜を育てる、奈良県桜井市の故・川口由一さんという方が提唱された農法です。「自然農」と聞くと、何も手を加えない楽な農業のように聞こえますが、耕さないことで野菜以外の草が繁茂し、そのための草整理に非常に時間が掛かります。また、川口さんのやり方では、米ぬか、油かすを「補い」として使用しますが、私は米ぬか、油かすも使用しない土だけの力で野菜を育てています。当然肥料を用いた「慣行農法」や、有機肥料を用いる「有機農法」に収量は遥かに及びません。農業だけで食

べていくのは中々難しい状況ではありますが、知り合いが高野山で宿坊を経営しており、そちらの方をメインに野菜を出荷していくつもりです。今の生産量ではこちらに送るだけで精一杯ですが、ゆくゆくは「ひよしのさとマルシェ」や「ふるさと納税の返礼品」の出荷量も増やしていきたいと考えております。

活動を始めた当初は将来どうなるかも全くわからない状況でしたが、何とか先が見えるようになってきました。ここまでこれたのも、地域振興課、小栗栖、三尾の方々を中心に、東吉野村の皆さんのご支援が

あったことです。本当にありがとうございます。農業以外にも、地域の活動や、消防団についても引き続き参加していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。





給食センターだより2月号



あなたの「腸」は健康ですか？

口から取り込んだ食べ物は、体の中で消化・吸収されると、残りが便となって排泄されますが、この便の状態で、腸内環境を知ることができます。腸内環境が整っていると、バナナ状の黄色がかった便がつくれ、腸内環境が乱れると、カチカチの黒っぽい色の便になったり、下痢を起こしたりします。腸内環境は全身の健康にも深く関わりますので、便の状態が悪い人は、食生活を見直してみましょう。

腸内環境を整えるには

★朝食後など、決まった時間にトイレに行く習慣をつけましょう！

食事は朝・昼・夕
と規則正しくとる



よく体を動かす



水分を十分にとる



便意を我慢しない



腸の健康に役立つ食べ物

★便秘の人は意識してとりましょう！

食物繊維の多い食品



野菜

果物

いも類

きのこ類

海藻類

豆類

発酵食品



ヨーグルト

乳酸菌飲料

納豆

漬物

節分



行事食

節分は、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことですが、現在では、立春の前日だけをさすことが多いです。昔の人は、冬から春へと変わる立春を新しい1年の始まりと考え、お正月と同じように大切にしていました。その前日となる節分は、大晦日のような位置付けで、1年の無事や幸福を祈る行事や行事食が伝わっています。

イワシ



イワシを焼くにおいで鬼を追い払います。イワシの頭はヒイラギの枝に差して玄関に飾り、厄除けに使います。

大豆



炒った豆をまいて鬼を追い払い、年齢の数だけ豆を食べて1年の幸福を願います。

そば



年越しそばと同じように、新年への願いを込めてそばを食べる風習があります。

こんにゃく



体の中にたまった砂（不要なもの）を出す「砂おろし」として、こんにゃく料理を食べる地域もあります。

恵方巻き



太巻きすしを切らずに、その年の縁起の良い方角（恵方＝今年は東北東）を向いて食べるといふもので、関西地方の一部地域の風習が全国に広まりました。



文藝

ひがしよしの



令和五年十二月十九日青嶺俳句会から

水野露草 選評

◆特選の部

朝まだき窓を開くれば霜の声

川村 貞子

評

霜の声は、霜のおりた時のしんしんとした感じをいい、心理的な感覚の声である。

作者は、明け方窓を開けると一面霜がおりている景色に驚いたのであろう。

難解な季語を詠み熟すのは並大抵ではない。

極月の集ひシヨパンのノクターン

濱田貴美子

評

ノクターンは、「夜」の意で自由な形式のピアノ曲であり、シヨパンのノクターンが特に有名である。

作者は、年の瀬の音楽を聴く集りに参加したのである。

ノクターンを聴きながら年を惜しんでいる様子が伝わってくる。

冬うららどこでも停まる村のバス

池田美砂子

評

村内を走るバスは、停留所に間に合わなくても手を挙げると停車してくれるのであろう。

特に高齢者にとっては有難いことである。バスの運転手と乗客の微笑ましい会話なども目に浮かんでくる。

◆準特選の部

まだまだ遊ばう七三の大晦日

秋吉 正朝

湯の中に日差しの揺れて小春かな

宮崎 利一

◆佳作の部

庇まで薪積み上げて冬籠

宮下 俊二

水鳥や潜るたび岸暮れゆきぬ

池田美砂子

しろしろとごろごろと岩川涸るる

伊藤志津子

秋津野や十六丈の冬の滝

池垣 昭美

総毛立つ風吹き抜くる冬木立

秋吉 雅子

初雪の益荒男ぶりの高見山

秋吉 正朝

雪山となりて勇姿の高見山

宮崎 利一

霜月祭神前に鯖十二匹

濱田貴美子

後回し後回しして年の暮

松谷 忠則

トンネルを抜け冬霧の中に入る

前田 景子

友と犬と私と歩く冬の道

川村 貞子

深吉野の山映ゆる川涸れゐたり

辻 佐和子

散りつくした影まるとふ枯木かな

宮崎 成子

◆入選の部

古民家に眠りし我の息白し

宮下 俊二

ストーブに薪を焼べつつウイスキー

宮下 俊二

素顔とは気取らぬ色よ枇杷の花

池田美砂子

図案絵のぬり絵鮮やか冬薔薇

伊藤志津子

年の瀬とは思えぬ施設談笑に

伊藤志津子

時雨るるやオブジェとなりぬ石舞台

池垣 昭美

恋の歌碑へ飛び石渡る時雨かな

池垣 昭美

紅葉散る道ふみしめて戻りけり

秋吉 雅子

柚子の香に満ちたる厨冬近し

秋吉 雅子

行く年や苔盆栽に新芽立つ

秋吉 正朝

柗の花の可憐さ見とれをり

宮崎 利一

湯気上ぐる明石の新海苔自御飯

濱田貴美子

風花や週に一度の販売車

松谷 忠則

人気なき郷を囲ひて山眠る

松谷 忠則

風花や灰を均して香を立て

前田 景子

霜日和青空高く鳶まふ

前田 景子

風呂吹や山峡に靄棚引いて

川村 貞子

時雨来てゐる大峰の供養塔

辻 佐和子

高見山もう雪積みて雲光る

宮崎 成子

一般投句（短歌）

法事終え門で渡してくれたのは

元林マスマ

赤いそてつの絵手紙でした

元林マスマ

品がよく姿体もきれいで中身こく

元林マスマ

はめられたのははじめてでした

元林マスマ

白紙中あなたがほめた私の句

元林マスマ

答案よりもうれしく思う

元林マスマ

珈琲を無糖で飲みぬ冬の朝

福井メイ子

仕事納めるやすらぐひと日

福井メイ子

空に舞ひ地に舞ふ雑木落葉かな

福井メイ子

個々にあつばれ葉は枯れ切つて

福井メイ子

極月の山に響けるチェンソーの

浦田由美子

音止む時ぞ昼近きかな

浦田由美子

面白きテレビ無き日は小夜更けて

浦田由美子

縮緬細工の花が仕上がる

浦田由美子

久々に百人一首とり出して

浦田由美子

サロンで覚へしゲームしてみる

浦田由美子

夫亡き後十年ここで住みたいと

辻 由美子

思いて早八年経ちにけり

辻 由美子

欲が出てもう十年この家で

辻 由美子

暮さんことを願う新年なり

辻 由美子

一般投句（川柳）

何もかも飲み込みじつと耐えています

植平 佳伸

右を見て左を見ればもう忘れ

植平 佳伸

猛勉強 免許更新 脳悲鳴

植平 佳伸

旧四郷小からこんにちは！奈良女子大学の活動報告

こんにちは！奈良女子大学（社会連携センター）の特任助教を務めている大谷です。
先月の活動報告と今後のイベント情報をお知らせいたします。

INFORMATION

三町村の特任助教による これまでの活動報告会

3月25日(月)

時間：13:30～16:30

場所：奈良カレッジズ交流テラス
(奈良市、奈良女子大学キャンパス内)

東吉野からは、たくさんの人に支えられ、ともに活動してきた内容をお話します。皆さんの顔が見れたら心強く嬉しいです。ぜひお誘い合わせの上ご参加下さい。

<奈良女子大学よりイベントの趣旨について>

東吉野村をはじめ、下北山村、下市町と、県内の過疎高齢化が進む3つのモデル地域で、三者三様の活動が創発しています。この仕組みの紹介を行うとともに、キーパーソンである3人の地域在住の特任助教（普段は各エクステンション勤務）を迎え、制度の立ち上げからこれまでを振り返って報告いただきます。また、それぞれの地域での活動と関わった方たちにもコメントをいただき、奈良型エクステンションが全国の大学—地域連携モデル、エンゲージメント型大学のモデルとしてさらに羽ばたく可能性と課題を探ります。

<主催>奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター（地域実践部門）
<協力>奈良女子大学社会連携センター、奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所

<開催方法>現地参加またはオンライン

- ・現地参加（定員30名）は申込制（申込先は後日公開予定。）
- ・オンライン参加用のZoomURLは後日公開予定。

<プログラム（予定）>

- 基調説明「奈良型エクステンションとはなにか」（寺岡伸悟）
- 各エクステンションの1年半を振り返って（前半）
 - ・下市エクステンションの活動（秋谷奈美特任助教）20分
 - ・下市エクステンションへのコメント（奈良教育大学付属小学校 小谷校長）5分
 - ・下市についての簡単な質疑応答
- 休憩
- ・東吉野エクステンションの活動（大谷円特任助教）20分
- ・東吉野エクステンションへのコメント（酒井敦 共生科学センター長）5分
- ・東吉野についての簡単な質疑応答
- 休憩
- ・下北山村エクステンションの活動（鈴木靖子特任助教）20分
- ・下北山エクステンションへのコメント（下北山村役場堀内氏）5分
- ・下北山についての簡単な質疑応答
- 休憩
- 大学と地域の共創のために 20分
 - ・全体ディスカッション（質疑応答）



— 1月のひよカレ活動報告 —

【図書館運営に向けて準備中！】

村内のありんこ文庫(天照寺)様より、本と書架を寄贈していただきました。いろんな方に助けてもらいながら本の運搬が完了しました。子どもの城様からも寄贈いただけることになりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。今後は奈良女より退職される先生方から寄贈いただける本もやってくる予定です。本の運搬や、四郷小での仕分けなどの作業が増えていきます。

- ・力仕事にご協力いただける方
 - ・本の仕分けや、ラベル貼りにご協力いただける方
- ご参加お待ちしております。一緒に図書館を作りたい方、ぜひお手伝いに来てください！

2月のひよカレ活動予定

2月9日(金)9時30分～ 座談会

2月26日(月)10時～ ビブリオバトル

活動にご協力いただける方は大谷までご連絡ください
090-6144-4083